

平成20年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

石川県立珠洲実業高等学校

学校長 田 畑 勇 治

1 教育目標

豊かな情操と高い知性を養い、知・徳・体ともに調和のとれた人間の育成に努める。

2 中長期的目標

(1) 学校の現状

入学時における学力差がかなりあり、改善のため習熟度別授業や少人数授業を取り入れているが、目的意識を持たず学習意欲にかける生徒がいる。部活動は全員加入制を取り入れている。小規模校ながら全国的に活躍している部活動がある一方で、部加入状況に偏りがあり、全体としての部活動活性化にはまだまだ改善点が残っている。また、飯田高校との再編により、総体・総文後、各種大会に単独で出場できない部がある。地域に根ざした活動を積極的に行っており地域から評価されているが、より一層の連携や工夫が必要である。厳しい社会情勢の中にありながら、進学・就職の進路決定率は100%を維持し、地元への就職者も毎年約20%程いる。飯田高等学校との再編により2、3年生の4クラスとなった。

(2) 生徒に関する、中・長期目標

基礎・基本が確実に定着され、学習意欲に富み、資格取得・部活動で活躍できる生徒の育成。
基本的な生活習慣が確立し、授業や部活動を通して健全な心身を持つ生徒の育成。
キャリア教育を推進し、健全な職業観・勤労観を持つ生徒の育成。
地域を愛し、地域から愛される生徒の育成。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

分掌間の連携を強化し責任を持った校務運営と慣例や恒例にとらわれない機動的な学校組織。
小規模校ならではのきめ細かい指導と生徒一人一人が主役となる環境づくりを進めることで教師と生徒の良き信頼関係の構築。
教職員一人一人が互いに尊重し合い、効率的な校務の運営により、望ましい職場の雰囲気づくりや協働体制の構築。
家庭や地域社会、関係団体との連携を密にし、地域に開かれ、地域に愛される学校。

3 今年度の重点目標

生徒と教師の信頼関係に立脚し、意欲関心を高める授業改善の推進。
お互いを思いやる心を育む生徒会活動とたくましい体力づくりの推進。
働く意義を考えさせ、自立をめざすキャリア教育の推進。
地域の文化の創造に貢献する多様な教育活動の推進。

